

つながり若者センター通信

第4号 2022年12月2日発行

広報滋賀。プラスワンに載りました！

つながり若者センターは、地域の若者や子どもが困っていたら声をかけられる場所になってほしいと思っています。

「うざい」と思われる事もあるかもしれませんが、「ここに来れば誰かいる。」「気にかけてくれる人がいる。」と思ってもらえる場所づくりを大切にしています。

そんな思いで過ごした今年も、もう年の瀬。昨年度に立ち上げてから若者たちや各施設の方々をはじめ、たくさんの人たちの協力を得て、少しずつ形になってきました。

11月に行ったBBQでは、普段、若者食堂に来られない若者たちも参加してくれて、ふとした時に立ち寄れる場所や行事があることは良いことだな、と改めて思いました。

「つながり若者センター マザーボード」は今年度、新たな仲間や各機関とのつながりも増え、心強く感じながら来年を迎えられそうです。

※広報滋賀。プラスワン11・12月号に掲載された記事は、ツイッターに投稿しております。

つながり若者センター

コージータウンの開設

12月に若者たちの第二の活動場所として、「つながり若者センター コージータウン」が、アル・プラザ彦根内に開設されました。開設前、日々でき上がっていくセンターを見ながら、若者の居場所が増えていくことにとても喜びを感じていました。そして、新しい相談員や施設の方を迎えて動き始めました。

新しい活動場所 (Gotcha つなわか) は6階にあります。同じフロアには本屋やカフェも併設されていますので、若者たちがふらっと立ち寄りやすくなっていると思います。ぜひ、気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。

ここでは、若者向けのイベントや若者食堂を企画しています。日程など詳しいことは、ツイッターやインスタグラムでもお知らせしていきますのでご覧ください。

(専門コーディネーター草場)



つながり若者センター コージータウン
場所/アル・プラザ彦根 @JR彦根駅西口

COZYTOWN (コージータウン) とは、
ほっこりと居心地のよい空間を意味しています。

来てくれた皆さんが、ひといきつける、
大切な居場所になりますように♪



●若者食堂でバーベキューをしました。

令和4年10月29日、四つ葉のクローバーとつな若センターのコラボ企画で、草津の湖岸緑地（志那）にてバーベキューを行いました。当日は天候に恵まれ穏やかな琵琶湖を見ながら、みんなで気持ちよく過ごすことができました。



●週末で混み合う湖岸緑地。

当日は土曜日で、キャンプをされていた方が多いため、朝8時ごろから、まずは職員で準備を始めました。若者たちは一度マザーボードに集ま

って現地に向かう方もいれば、自家用車で直行される方もいました。



●美味しいお肉にみんな思わず笑顔に。

10時過ぎから少しずつ若者たちが集まり始め、みんなで火おこしをしたり、食材を切ったりと自発的に協力して準備をしました。前日に職員がとっておきのお肉屋さんで買った



てきたお肉をみんなで食べて、「美味しい！」と喜びの声が上がりました。

●若者食堂を通じて深まる絆。

若者食堂に来る若者たちの多くは、生活の色々な場面で生きづらさを感じています。しかし支援者や似たような経験を持つ若者たちと対話し、共に活動をしていく中で、絆が生まれ、生きる力をつけていきます。食事だけでなく、おしゃべりやバドミントン、キャッチボールなどをして元気に活動する姿が見られました。



●みんなが協力した最高の一日。

午後に記念写真を撮りました。みんなで「はいチーズ！」に合わせポ

ーズを取りますが、タイミングがなかなか合わず大爆笑でした。後片付けは、若者たちが自分から「これどこに運んだらいい？」と職員に訊きながら、自発的に片づけをしていました。爽やかな秋の一日はあっという間に過ぎてしまいましたが、若者食堂の思い出はいつまでも心に残っているでしょう。

参加人数 若者18名・支援者11名



事業の3本柱のひとつ 3つの会議

地域養護推進協議会の事業の3本柱のひとつに、3つの会議があります。3つの会議の実施により、支援を進めると共に、課題を整理し、地域養護をすすめるために提案や提言を発信していきます。

3つの会議には、

個別会議・進捗会議・全体会議があります。

個別会議

個別会議では、若者本人の福祉や就労・保健医療・教育等の関係支援者を中心に話し合います。若者本人も交えて、今後について話していく事もあります。今年度は令和4年4月から10月までの累計で50件となっています。

進捗会議

毎月1回、協議会の会員団体の担当者が集まって行います。相談支援の進捗について情報共有、事例検討や研修などを行い、自己研鑽にも励みます。

今は児童養護施設、里親会、自立援助ホーム等から参加してもらっています。これまでの施設退所者等のアフター支援での経験を聞かせてもらうことや有難いことに、具体的な支援機関や

支援方法を教えてもらう事もあります。



アフター支援や、アフターに繋がるインケア（施設入所中のケア）の課題について感じておられる事は多々あり、そういった事をざつくばらんに話すことができる場になってきました。いろいろな話ができることで、つながり若者センターとしての課題に多々気づくこともあります。これからも連携をしながら、社会的養護経験者はもちろん、地域で生活をしている若者らの支援に繋がる会議にしていけたらと考えております。

全体会議

年に1〜2回、協議会の会員団体の代表により開催されます。個別会議や進捗会議で抽出された課題を社会に発信し、今後の資源作りや制度作り等に寄与していきたいと思っています。

8月5日に、令和4年度全体会議を開催し、収支決算等についての報告はもちろんのこと、滋賀県地域養護推進事業の進捗状況について事例を交えて報告しました。相談支援コーナーディネーター2名より、事例での、困難であった事や、感じた課題について報告しました。2つの事例を通して、

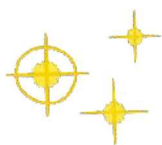
“居場所が果たす役割はとても大きい”
という事が感じられました。

支援が必要な若者に共通している事として、日常の小さな困りごとから、金銭的な面

での困りごとまで、家族からの支援を受ける事が難しい若者が多くいます。家族からの支援を受けられても、特性とうまく付き合えず、就労が続かない、また就労できない若者も多くいます。就労が生活資金と直結する若者は、就労がうまくいかなければ生活の居場所が危ぶまれます。また就労により得られる、社会的な居場所がなくなり、就労先のような居場所だけでなく、楽しめたり、ひと息ついたりできるような居場所も必要です。十人十色、様々な若者がいる中で、“多様な居場所”が必要である事を感じました。

若者を支援する際に、若者に居場所はあるのか？居場所をどうやって作ることが出来るのか？また、つながり若者センターはどういった居場所になれるのか？若者のこれまで歩んできた人生もしっかりと見つめたいので、何かしらの居場所になれるよう、支援していく事を忘れてはいけなさと感じました。

(相談支援コーナーディネーター 松原)



新しくスタッフが増えました

「つながり若者センター マザーボード」に、8月より、相談支援コーディネーターとして、新しくスタッフが増えました。

池畑賢太郎（いけはたけんたろう）さんです。池畑さんに、つながり若者センター（以下つなわか）の印象を聞いてみました。

★つなわかの仕事や若者食堂はどうですか？

楽しいです。社会性のスイッチを何とか入れながら、たくさんの方にお会いし、若者を応援されている人たちがこんなにたくさんいるのかと感動しています。

★もしも、若者食堂でお手製料理をふるまう事があれば、何を作りますか？

おいしいレトルトカレーでお願いします。キットを買ってカレーを作ってみたのですが、振る舞えるほどのものにならなかったため、ひっそりと楽しんでおきます。

若者の支援を通じて、関係機関の方々とお会いできる日があるかと思っています。何卒宜しくお願いします。

訪問・視察に来られました

内閣官房こども家庭庁設立準備室より
内閣審議官 長田浩志 様、主査 平岡由理
様が、9月29日に視察に来られました。

2023年4月1日創設予定の、こども家庭庁設置の業務にあたられています。若者らの支援をしている機関を視察に回られており、つながり若者センター マザーボードへも来て下さいました。地域養護推進協議会の発足の経緯や課題を共有し、意見交換の時間も作っていただきました。社会的養護を経験した児童のアフター支援に加え、社会的養護を経験せずに、地域で暮らしてきた若者支援に係る質問などをさせて頂き、現状等を一緒に理解する中で、国の施策として、若者支援や地域支援を捉えられているという事を聞き、心強く感じました。貴重な機会をいただき、ありがとうございます。他にも、県議会議員の方や、民生委員・児童委員の方、保護司の方など、様々な若者に係る方々も来訪して下さいました。

左からつなわかスタッフ

松原 中島局長 池畑



ソファ席左から

平岡 様 長田 様 杉山 様※

(※NPO法人四つ葉のクローバー理事長)

★つながり若者センター マザーボード

滋賀県守山市守山6丁目10-68 マザーボード内

TEL077-582-2221 FAX077-582-2330

★つながり若者センター コーヂータウン

滋賀県彦根市大東町2-28 アル・プラザ彦根内

若者の相談支援を経て、協議会を構成する団体のみならず、市町村の方、福祉サービス事業所の方等、関係支援者の方々と実際に顔を合わせ、話し、繋がる事ができてきたのではないかと感じております。今後共、若者の豊かな未来の為に、連携協力の程、宜しく願います。日々の様子やお知らせについて、ツイッターやインスタグラムにて発信しております。是非のぞいてみて下さい。

インスタグラム



@TSUNA_WAKA

ツイッター

